

(結果) 2025 年度入社 新入社員対象アンケート

対象とねらい	当本部主催・フレッシュマンセミナーの参加者を対象に、新入社員の意識調査を行った。昨年へ続き2年目の調査となる。
期間と回答方法	フレッシュマンセミナー受講時に回答 全3回開催:4/3.4、4/8.9、4/14.15
回答数	94 名 / 109 名中 (昨年回答数 80 名)
調査項目	Q1 入社された会社を決めた理由を教えてください。(複数回答可) Q2 これから会社で働くうえで、ご自身の【強み】だと思うものを3つ選んでください。 Q3 これから会社で働くうえで、ご自身の【弱み】だと思うものを3つ選んでください。 Q4 これから様々な先輩や上司とともに仕事をしますが、あなたが考える理想の先輩・上司は、著名人(タレント・俳優・政治家・文化人・スポーツ選手等)で例えると誰ですか？ (自由筆記) Q5 Q4でその方を選んだ理由(その方に持つイメージ)を教えてください。(自由筆記) Q6 これから働くうえで、今感じている不安があれば、どんなことを不安に感じているのかご記入ください。(自由筆記)

【調査概要】

- ・入社の決め手は「**興味ある事業内容(業界)**」との回答が6割。
また、「働きやすさ」がうかがえる項目に伸びがみられた。
- ・新入社員が思う、自身の【強み】の1位は「協調性」
自身の【弱み】の1位は「伝える力(プレゼン力)」
- ・理想の上司、最多票は昨年に続き「**大谷翔平**」選手。
- ・今感じている不安の第1位は 昨年と同じく「**職場の人間関係(先輩・上司とのコミュニケーション含む)**」。仕事への不安が多い中、プライベート面での不安や将来への不安をあげる人も。

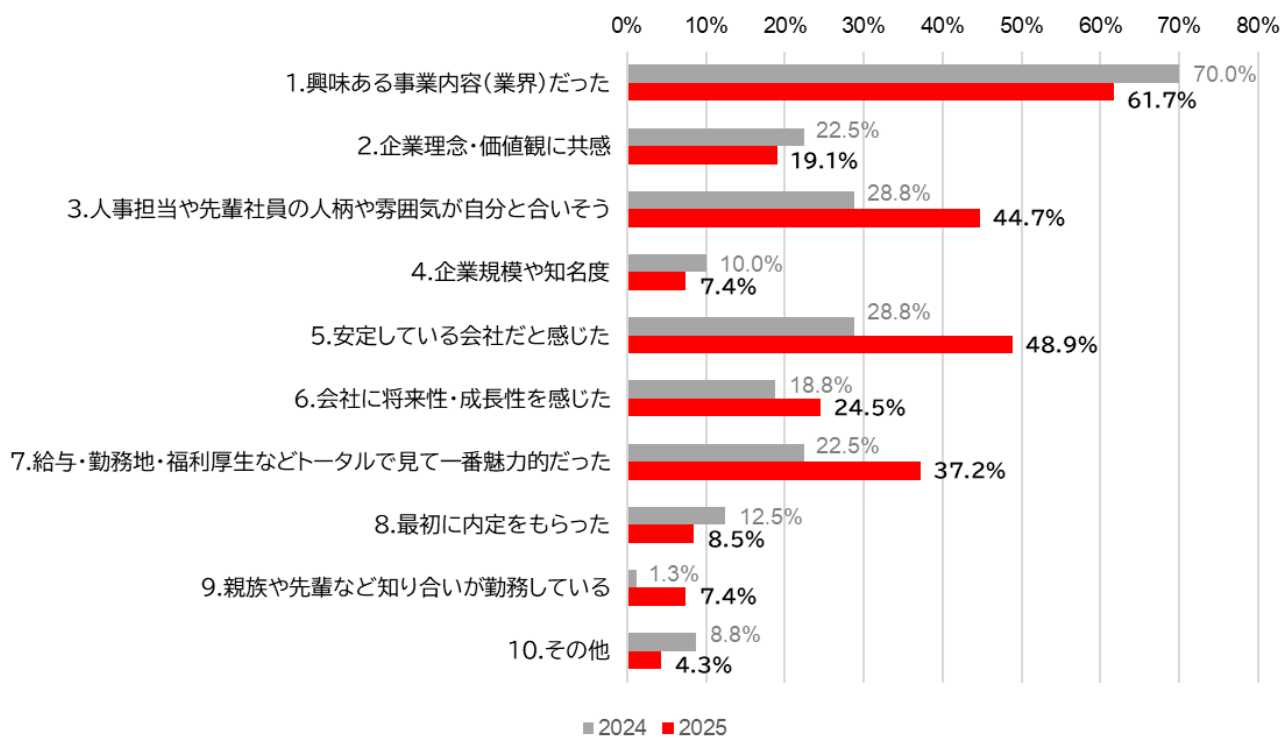
研修結果の最後に、研修を指導いただいた柳田講師に、今年の新入社員の印象と育成するうえでのポイントについてコメントをいただきました。



Q1 入社された会社に決めた理由を教えてください。(複数回答可)

「興味ある事業内容(業界)だった」(61.7%)が昨年同様1位。6割の方が希望する業界に就職できていることから、依然売り手市場であることがうかがえる。

昨年と比較すると、全体の順位はほぼ同じだが、「5.安定している会社だと感じた」が 20.1 ポイント、「3.人事担当や先輩社員の人柄や雰囲気が自分と合いそう」が 15.9 ポイント、「7.給与・勤務地・福利厚生などトータルで見えて一番魅力的だった」が 14.7 ポイントと大きく増えた。「9.親族や先輩など知り合いが勤務している」も 6.1 ポイント増えていることから、希望する業界とともに『働きやすさ』も重視して就職を決めていることがうかがえる。



【昨年との比較】

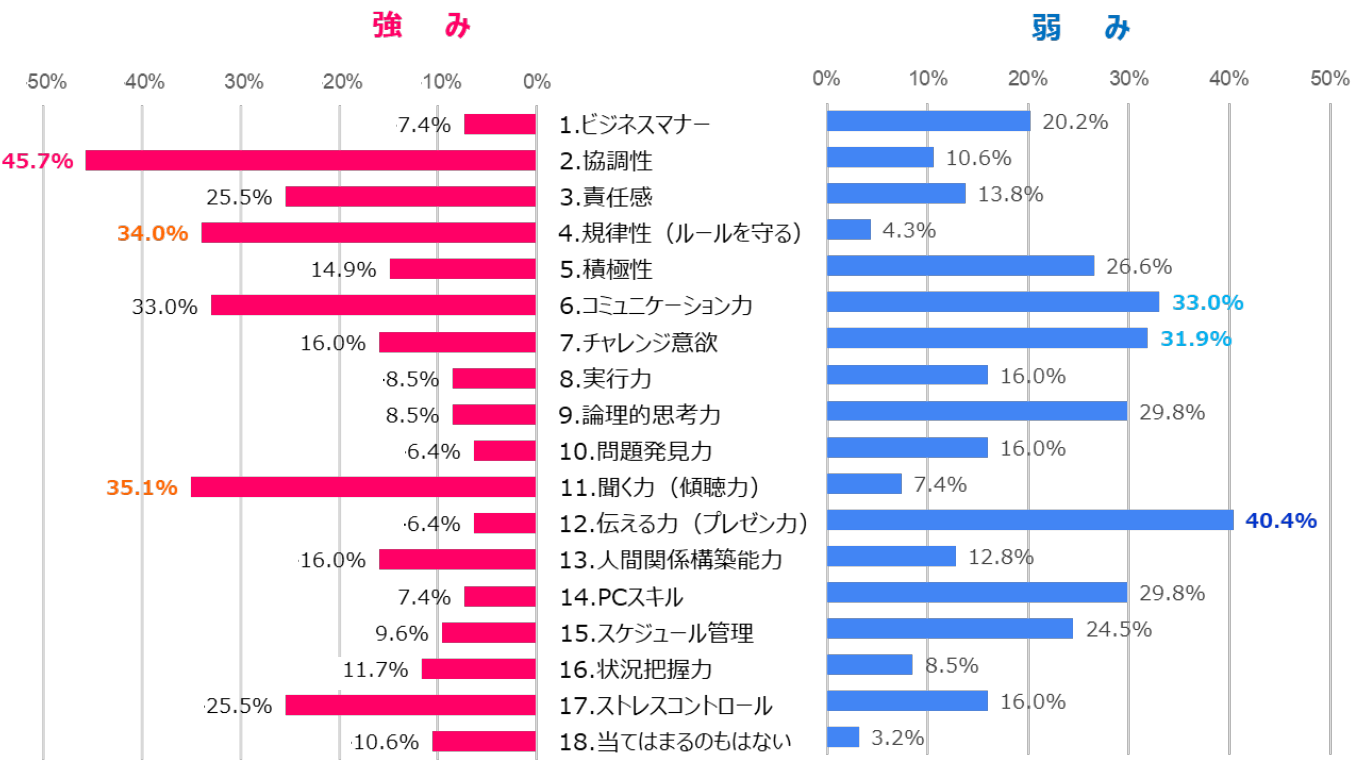
	2024	2025	昨年比
1.興味ある事業内容(業界)だった	70.0%	61.7%	-8.3%
2.企業理念・価値観に共感	22.5%	19.1%	-3.4%
3.人事担当や先輩社員の人柄や雰囲気が自分と合いそう	28.8%	44.7%	15.9%
4.企業規模や知名度	10.0%	7.4%	-2.6%
5.安定している会社だと感じた	28.8%	48.9%	20.1%
6.会社に将来性・成長性を感じた	18.8%	24.5%	5.7%
7.給与・勤務地・福利厚生などトータルで見えて一番魅力的だった	22.5%	37.2%	14.7%
8.最初に内定をもらった	12.5%	8.5%	-4.0%
9.親族や先輩など知り合いが勤務している	1.3%	7.4%	6.1%
10.その他	8.8%	4.3%	-4.5%

Q2・Q3 これから会社で働くうえでの、ご自身の【強み】と【弱み】を教えてください。
(強み、弱みそれぞれ最大3項目まで選択可)

自身の【強み】は、1位「協調性」(45.7%)、2位「聞く力(傾聴力)」(35.1%)、「規律性(ルールを守る)」(34.0%)となり、昨年の上位3位と変わらない結果となった。

自身の【弱み】は、1位「伝える力(プレゼン力)」(40.4%)、2位「コミュニケーション力」(33.0%)「チャレンジ意欲」(31.9%)となった。1位と2位に変化はないが、3位が「ビジネスマナー」から「チャレンジ意欲」に変わった。

なお、【弱み】の2位となった「コミュニケーション力」は、【弱み】と感じる人が 33.3%いる一方、【強み】にあげた人も 33.3%おり、二極化する結果となった。



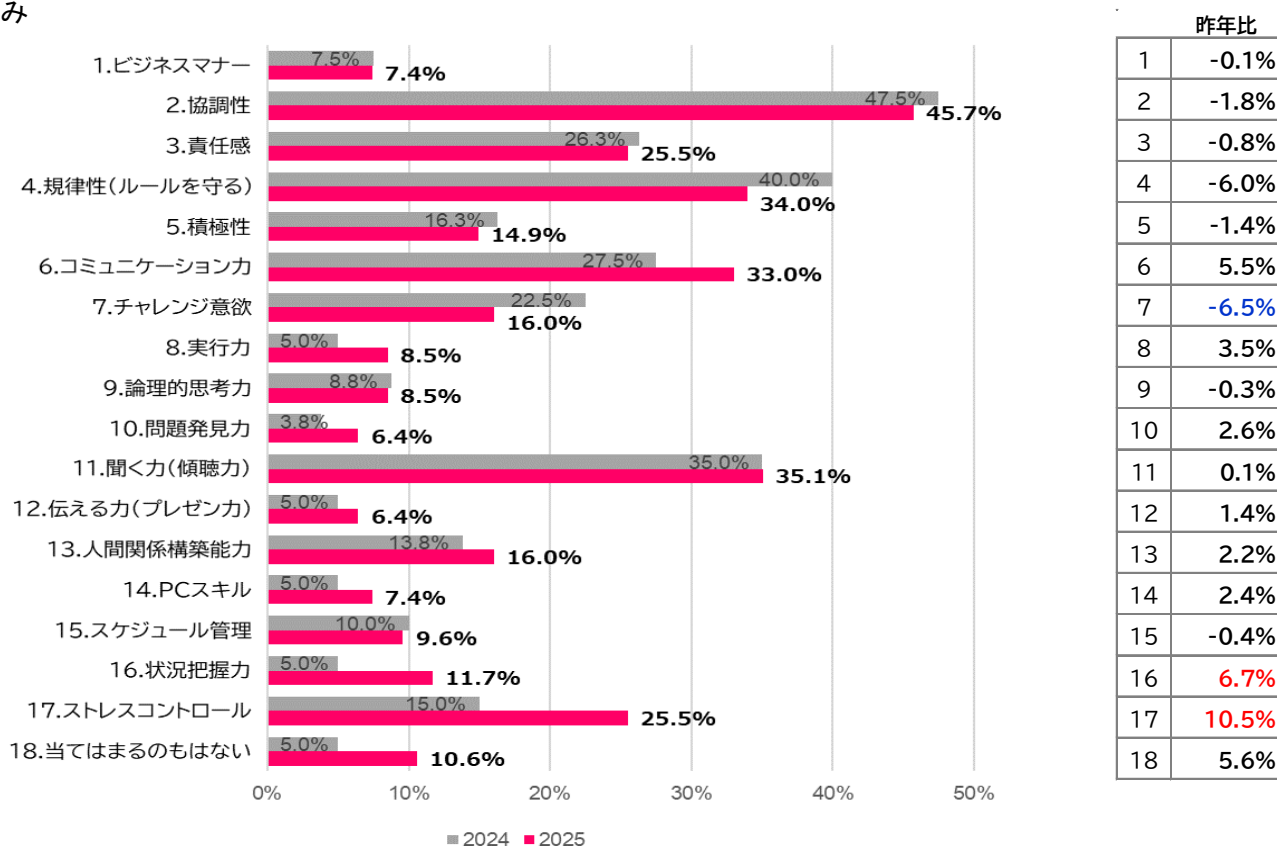
	強み	弱み
1位	協調性	伝える力(プレゼン力)
2位	聞く力(傾聴力)	コミュニケーション力
3位	規律性(ルールを守る)	チャレンジ意欲
4位	コミュニケーション力	論理的思考力 PC スキル

【昨年との比較】

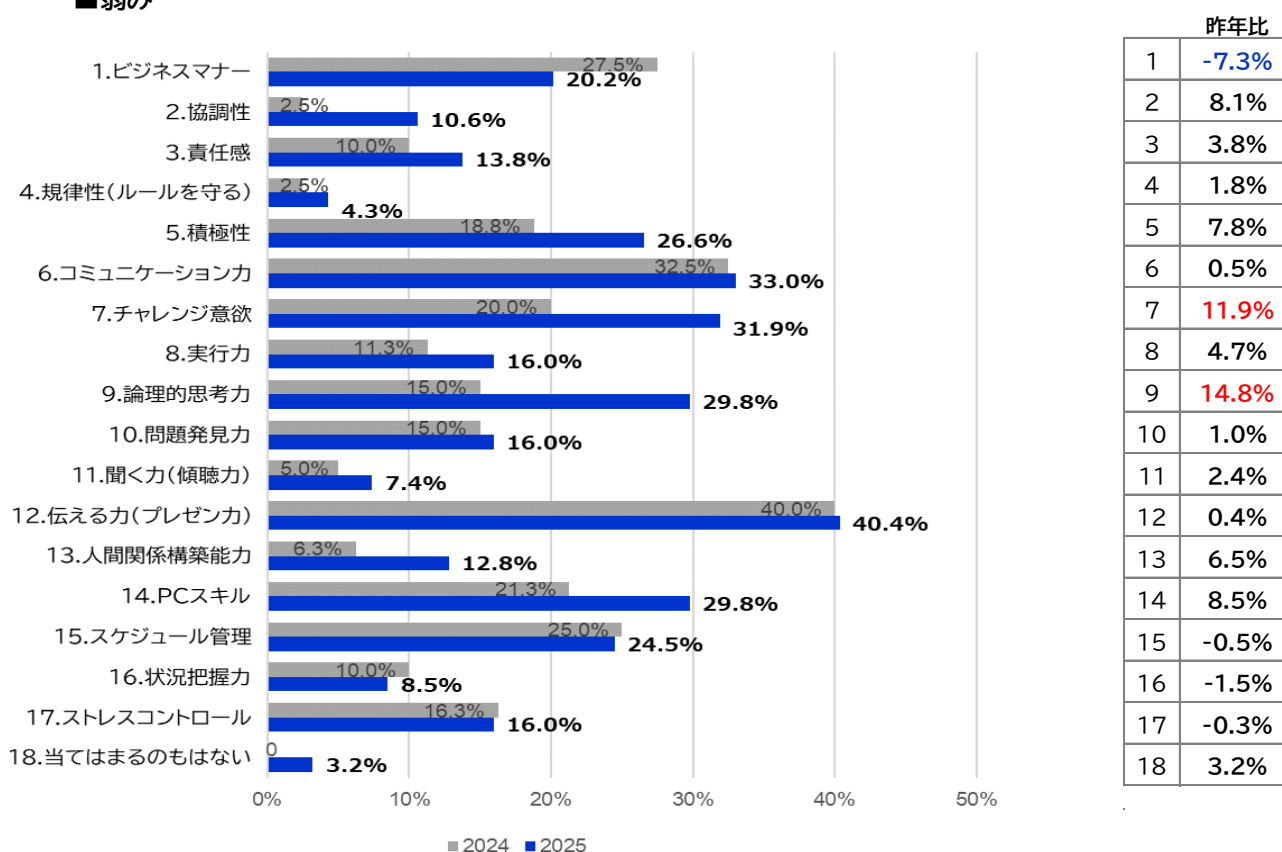
昨年と比較すると、【強み】では、「17.ストレスコントロール」が 10.5 ポイント増、「16.現状把握力」が 6.7 ポイント増となった一方、「7.チャレンジ意欲」は 6.5 ポイント減となった。

【弱み】では、「9.論理的思考力」が 14.8 ポイント増、「7.チャレンジ意欲」が 11.9 ポイント増となった。

■強み



■弱み



Q4 これから様々な先輩や上司とともに仕事をしますが、あなたが考える理想の先輩・上司は、著名人（タレント・俳優・政治家・文化人・スポーツ選手等）で例えると誰ですか？
お1人の名前を挙げてください。（自由筆記）

「大谷翔平」氏が昨年に続き1位となった。
その他、俳優や声優、アイドル、スポーツ選手、政治家などたくさんの分野から名前が挙がったが、アニメの有名キャラクターを挙げる方も数名おり、著名人として考える時に実在する人物という固定観念がないという印象も受けた。
また、「いない」と回答した人は昨年 0 名だったが、今年は4名いた。

(2024 年度結果)

1位	10 名	大谷 翔平
2位	4 名	明石家さんま 天海祐希 いとうあさこ 水ト麻美(アナウンサー) いない
(3位)	(3名)	父または母 ※著名人ではないため参考 回答とする

(50 音順)

1位	17 名	大谷 翔平
2位	4名	内村 光良
3位	3 名	明石家 さんま 天海 祐希 アンミカ

Q5 Q4 でその方を選んだ理由(その方に持つイメージ)を教えてください。（自由筆記）

- <選んだ理由の上位3つは以下のとおり>
- ・仕事に真摯に向き合い、諦めずに努力し続けているので尊敬できる
 - ・明るく親しみやすく、相談しやすい
 - ・甘やかすだけでなく指導すべきところはしっかりとってくれる

Q6 これから働くうえで、今感じている不安があれば、どんなことを不安に感じているのかご記入ください。（自由筆記）

「人間関係(先輩・上司とうまくコミュニケーションがとれるか)」を上げる方が1番多かった。
次いで「仕事を覚えられるか(ついていけるか)」「仕事で失敗(ミス)をしてしまわないか」「自分が本当に役に立てるのか」をあげる方が多く、仕事(働くこと)への不安が多かった。
一方、「今後仕事が増えていくとして、くたくたな状態で帰った帰宅後の時間を有意義に使うことができるか」「趣味が続けられるか」「休日にしっかり休めるか」などプライベート面に関する不安の回答もあった。
また、昨年はなかった、「子供ができた時が不安」「将来、結婚した場合に今の給料や制度で子育てできるのか」「人生のほとんどを仕事で終わるので自分の時間が確保できるか」など、すでに長期的な視点で将来に不安を感じる回答もあった。
「頑張ります!」「(不安は)ない」とポジティブな回答は、昨年は2名のみだったが、今年は13名いた。

フレッシュマンセミナーをご指導いただいた クラロ 代表の柳田由紀枝講師にも、今年の新入社員の印象と育成をするうえで気をつけたい点をうかがった。

今年の新入社員の印象は、「真面目」「素直」であり、例えば、研修中の電話対応のロールプレイングでも、上手いかわなくても対応の仕方や言葉の使い方などのヒントを元に、最後まで取り組もうとする粘り強さや諦めない真摯な姿勢が印象的でした。

一方、休憩中にそれぞれが携帯を見て、自分から周りに関わっていくことが少ないと感じる場面もありました。「職場での休憩中に携帯を見ているとき、上司や先輩から声をかけられたらどう感じるのか？」という質問をしたところ、全員が「気にならない。」という回答でした。

職場の人間関係の悩みは、“関わり方がわからない”から生まれる不安であり、強みにあげている「1位：協調性、2 位：傾聴力」は、裏を返せば「受け身である・待ちの姿勢である」という部分があることを理解し、職場においては、上司や先輩が遠慮せずに声をかけて巻き込んでやる必要があると感じました。

また、持ち味である素直さを活かすためにも、いち早く安心感を与えていくことも大切です。

おとなしそうに見えても表現することに慣れていないだけであり、周りが自己表現を歓迎することで、「それぞれの自分らしさ」を発揮するきっかけになると思います。

研修中、態度や取り組み姿勢について時々注意をすることもありましたが、不器用ながら少しずつ改善しようとする気持ちが伝わってきました。新入社員を指導・育成するうえで、“出来ないのではなく、これまで経験したことがないから動けない”ということを上司や先輩など指導する側が柔軟に受けとめ、小さな変化でも本人が意識しながら改善しようとしている事実を目を向けて、承認しながら次のステップを踏めるように関わっていく必要があります。

※今回のアンケート結果は当本部HPでもご覧いただけます。

九州生産性本部 「報告・機関紙」ページ

＜本件に関するお問い合わせ先＞

(公財)九州生産性本部 総務広報グループ さんこだ 三小田・中尾 TEL:092-771-6481

※本調査内容の無断転用、転載、引用は固くお断りします。